

# 「学習塾講師 基礎知識学習・筆記試験」修了者 および「集団指導1級・2級・3級」認定者の要件

基礎知識学習・筆記試験修了者並びに集団指導3級

学習塾講師としての、基本的倫理観を身につけており、  
担当科目に対する十分な知識を有する

人材

## 集団指導1級

上の要件に加え、

- ・ 集団指導の場において、
- ・ 指導者として然るべき品格を備え、自らの個性を活かし、
- ・ 塾生から信頼される態度で、学習塾教材をベースに工夫を活かし、
- ・ 塾生一人ひとりの理解度や反応に目を配り、教室（塾生全体）のやる気を高揚させながら、
- ・ 学力および成績向上のポイントを確実に押さえ、教室（塾生全体）を掌握した効果的な学習指導ができる

人材

(集団指導の実務経験3年以上〔平均5年程度〕が目安)

## 集団指導2級

上の要件に加え、

- ・ 集団指導の場において
- ・ 指導者として適切にふるまい、
- ・ 教室（塾生全体）のやる気や理解度に配慮しながら
- ・ 間違いのない学習指導ができる

人材

(集団指導の実務経験1年以上が目安)

# 学習塾講師検定における集団指導1級・2級の水準

## 集団指導1級

●集団指導1級は、指導のポイントや知識を十分に理解し、実際に状況に活用できているレベルにある講師です。

●長期的目標や計画を立てて自分の活動を計画し、実行できます。実践を経験し、ポイントを身につけるだけでなく、状況において重要なポイントか否かを識別できるようになり、他者の援助がなくとも、一人前の仕事ができます。

●そのため、経営者が授業をまかせることができます。年数的には、講師をはじめて3～4年を経ている人たちがその対象となりますが、単純に年数で測れないのは、ときとして、独学の場合、独りよがりの場合も少なくないからです。

●検定試験においては、コンピテンシーディクショナリに掲げられる行動基準の全てを評価項目として、それを標準的に実施でき、一部の項目はより充足して満たしていることが求められます。

## 集団指導2級

●集団指導2級は、集団指導の講師をはじめて2～3年であり、実践のなかでポイントを身につけつつあるレベルにある講師です。

●対象によって異なる状況的な要素に目を向け、一般的なガイドライン(コンピテンシーディクショナリなど)を状況に適用しはじめています。

●ただし、まだ十分に身体化している段階ではない。そのため、検定試験においては、コンピテンシーディクショナリに掲げられる行動基準の一部を評価項目として、それを標準的に実施できることが求められます。